



新座中だより

令和3年度6月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

教えて身に付けさせたいこと

校長 高橋 利明

10年程前、国立オリンピック記念青少年総合センターに出張のため、新宿駅発の私鉄電車の発車を待っていた時のことです。

混雑する時間帯ではなかったので、ほぼ全員が座席に座って、出発を待っていました。すると、私の斜め前の女性が、化粧道具が入っているとされるポーチを開けてお化粧を始めました。なかなか終わる様子もなく、その後の揺れる電車の中でも手際よく進めていました。見るともなく見ていると、特にまつげの長さや量が気になるようで、鏡を見ながら、やや口を半ば開けて入念に手入れをしていました。私が先に電車を降りてしまいましたので、その後どの程度続いたかは分かりません。

おそらく、職場の同僚の前ではやらないのだろうなと考えると、「周囲にいる人が見知らぬ人だから」という安心感や「家を出るのがギリギリだったから」などの理由があるのでしょうか。この女性にとって「社会のマナー」というのは何なのか、家を出る前にすべきこととして、親に教わらなかったものであろうかと考えてしまいました。さらに将来、この女性が育てるであろう娘にも、けっして教えることはないのだろうなと思いました。

「マナー」については、「他人に迷惑をかけ

ない」ということのみが先行し、「周囲の人に迷惑をかけなければいい」ということが行動の基準になり、様々な場面で「あれ？」ということが起こりがちです。子どもには教えずとも身に付くことがあります。親や大人がきちんとしつけないとわからないことも多くあります。口うるさい親や大人と思われたくないという思いが強すぎると、マナーを知らずに育った子どもを生み出すことにもなります。

このところ、登下校中に信号や横断歩道のある所を横断せず、歩道の幅いっぱい広がって歩く生徒が数名いると地域の方々からお聞きしましたが、学校では以前から「公共のマナーを育てる」という指導は継続して行うようにしています。「周囲を気にせず、車が通っていないからと道路の中央を歩いたり、大声で話すなどの近所迷惑をしたりするのは恥ずかしい事」「歩道いっぱい横に広がらない」などについて知ってほしいからです。

本校の生徒の良さである「素直さ」や「上品な振る舞い」が、これからもずっと『良き伝統』として引き継いでいけるよう、知らなかった事も含め、「ルールやマナーを守ることの大切さ」をこれからも身に付けさせていきたいと考えています。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」